

はじめに

本校の設立母体は、「ショファイユの幼きイエズス修道会」（本部パリ、日本本部は宝塚市仁川）である。カトリックの理念に基づき、自分と他者がかけがえのない存在であることを認識するとともに、特に弱い立場に立って物事を考えることができる価値観を育んでいる。

本学校評価は、本校の現状及び課題を再認識する契機として位置づけ、伝統の上にたった変革を成し遂げるための有効な検証の手段としてとらえている。

1. 建学の精神

1877年（明治10年）、フランスから派遣された4人のシスターたちは孤児や貧困家庭の子女を養育する活動を始めた。異国で女性4人でのこのような活動は「見返りを求めず人に尽くす」とともに「可能性を追求してチャレンジする」というカトリックの理念の表れである。カトリックの理念はこの他に、自他の尊厳を大切にす、人や物事の背景を考える（思いやる）、自分の持つ力を伸ばす工夫努力をする、などがある。本校ではこのようなカトリックの理念が本校の生活の中で実践されることを指針としている。

2. スクールミッション

カトリックミッションスクールの和歌山信愛中学校高等学校は、「一つの心、一つの魂（Un Seul Coeur une Seule Ame）」を校訓に自他の尊厳を認め、あたたかさ（人を思いやる洞察力と人に尽くす行動力）・ひたむきさ（知性・教養・感性を磨き続ける探究力と可能性を追求するチャレンジ力）・しなやかさ（多様性を受け入れる寛容力）を持った「美しい人」として、地域はもちろんのこと世界に貢献できる人材を育成・輩出する。

3. スクールポリシー

（1）アドミッション・ポリシー

本校は次のような人の入学を求めます。

「美しい人」の資質を身に付けようとする人

- ・人として成長しようと思う人
- ・色々なことを学ぼうとする人
- ・チャレンジしようと思う人

(2) カリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシーの実現に向け、以下の教育課程を編成・実施します。

- ・人間性を育む学校生活

日々の学校生活や行事を通して、チャレンジ精神、協調性、社会性、自己肯定感を育みます。

- ・学力の定着と伸長

習熟度別授業や個別指導、ICTを活用した学びを取り入れ、生徒一人ひとりの適性や学力、志望に応じたきめ細やかな指導で、基礎学力の確実な定着と応用力・発展力の育成を図ります。

- ・多様な個性の伸長

授業や探究活動、クラブを通じて、特色ある学習を提供し、生徒の興味・関心を掘り下げ、個性の伸長を支援します。

- ・思考力・判断力・表現力の伸長

授業や探究活動、クラブを通じて、思考力・判断力・表現力を磨きます。

(3) グラデュエーション・ポリシー

本校は、以下の資質・能力を身につけることを目標に教育を行います。

- ・自他ともに尊厳を大切にする
- ・あたたかさ（人を思いやる洞察力と人に尽くす行動力）
- ・ひたむきさ（知性・教養・感性を磨き続ける探究力、チャレンジ力）
- ・しなやかさ（多様性を受け入れる寛容力）

5. 2025年度（令和7年度）学校目標

建学の精神の具現化を目指し、本校の教育目標の達成と学院の発展を図るために、次の内容を重点目標に掲げる。

- (1) 目指す教師像の実現
- (2) スクールミッション・スクールポリシーの実現
- (3) ICTの活用充実
- (4) 学習意欲及び学力向上
- (5) 進学実績の向上
- (6) 入学者数の増員

2025 年度、本校は以下のような目標・方針・計画をもとに、教育活動をおこないます。

※評価はA・B・C・Dの4段階で行います。

A：達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

教育目標	カトリック精神を基盤とする「幼きイエズス修道会」の教育理念に基づき、生徒の全人格的成長を目指す。自他の尊厳を認め、あたたかさ（人を思いやる洞察力と人に尽くす行動力）・ひたむきさ（知性・教養・感性を磨き続ける探究力と可能性を追求するチャレンジ力）・しなやかさ（多様性を受け入れる寛容力）を持った「美しい人」として、地域はもちろんのこと世界に貢献できる人材を育成・輩出する。	総合評価
年度目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 自他の尊厳を認める中で社会性を涵養する 2 一人ひとりの進路実現 3 自立に必要な規律ある生活態度の育成 	A

部署	具体的目標	具体的方策	評価		
			中間 4~10月	年度末 11~3月	年間
生徒指導	教育相談体制の充実	学校内スクールカウンセラーの配置及び教員との連携	A	A	A
	態度教育を重視した生活指導強化	挨拶・返事などの態度教育での五つの基盤を徹底	B	A	B
教務	教育内容(カリキュラムなど)の確認	信愛教育の幹の一つである授業カリキュラムを、各教科と連携をとって設定する	A	A	A
	学校行事などスケジュール管理	各部署との連携を図り、学年や部署の円滑な運営をサポートする	B	A	A
	帳簿管理	個人情報保護管理を厳格に行い、必要書類を保持する	A	B	A
進路指導	丁寧な進路指導	正確な進路情報をもとに、一人ひとりに適した進路指導を行う 模試の結果を踏まえ進路の方策をたてる会議を行う	A	B	B
	進路保障	様々な入試制度を研究し、その中から生徒一人ひとりに適したものを提案し、確実な進路保障を行う	A	A	A
	学力保障	各教科と連携し、試験や模試などで学力保障ができているかどうかの確認を行う	A	A	A

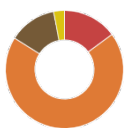
総務	学校設備の管理	学校設備で不具合があれば迅速に修理、補充をする。	A	A	A
	職員研修の実施	私立学校教職員研修会等、職員の研修を実施する。	A	B	B
	防災安全	今後起こりうる地震や災害に対して備える	B	B	B
保健	環境衛生の整備	教室の換気、環境の点検など安全な学習環境を維持する。	A	A	A
	衛生委員会の設置及び実施	教職員と生徒の健康管理の計画・実施・評価を行う。	A	B	B
	環境美化	生徒、教職員が信愛生活を快く過ごせるよう、校内美化を図る	A	A	A
入試広報	学校の持つブランドイメージの向上	オープンスクール等の内容を充実させ、在校生の活躍の場を増やす。	A	A	A
	学校の教育理念・特長が正確かつ魅力的に伝わる広報活動の実現	地域の各教育機関との連携を強化し、ネットワークの構築を促進する。	B	A	A
体育	基本的な生活習慣の確立	規則正しい生活の定着と生活リズムの定着を意識させる	B	B	B
	健康についての意識の定着	授業を通じて身体を積極的に活動させる	A	A	A
宗教教育	カトリックの理念（他者への配慮、見返りを求めず人に尽くす、可能性の追求、自らの力を伸ばす工夫努力など）を学校生活の中で実践する。	授業、聖書朝礼などを通して、カトリックの理念を理解し生活の中に活かす。クリスマスミサ、聖母祭など様々な宗教行事を通じて、心の涵養を図る。	A	A	A
	自らと向き合い、自他の尊厳を大切にする。	学校生活の中で静謐な時間を作り、自らと向き合い顧みる。	B	A	A
事務	教職員・保護者・行政との連携	保護者、来客の対応力、調整力、信頼性に意識して業務に取り組む。	B	A	A
	正確性、効率性、法令遵守、対外対応力	予算執行の管理、監査対応（内部監査・外部監査）、補助金・奨学金処理、帳簿・証憑の整理保存など正確性、期限遵守、透明性を強化する。	A	B	A
事務 (図書)	生徒の読書習慣の定着と情報活用能力の向上	利用促進の一環として図書便りの発行、新刊紹介掲示、来室者数の把握に努める。	A	A	A
	蔵書管理と環境整備の実施	配架及び分類の見直しを行い、利用しやすい環境整備に努める。	B	B	B

部署	具体的目標	具体的方策	評価		
			中間 4~10月	年度末 11~3月	年間
中学1年	基本的な生活習慣と学習習慣の確立	規則正しい生活リズムと家庭学習の定着の支援を行う。	B	A	A
	自己表現力とコミュニケーション能力の育成	自己の在り方を深く考え、互いに認め合うコミュニケーション能力を育成する。	B	B	B
	深い学びに向き合う姿勢の支援	研修会や講演会などを通して、視野を広げると共に主体性・協働性を養う。	A	A	A
中学2年	基本的な生活習慣と学習習慣の育成	規則正しい生活リズムの定着の支援を行うとともに、定期考査や検定等に向けて十分な準備をして臨むように促す。	B	A	A
	コミュニケーション基礎力育成	聞き手や読み手に伝わることばを重視した自己表現活動の機会を設定する。	A	A	A
	自律心・向上心・集団帰属意識の涵養	研修旅行等の学校行事を通して、協働的活動を促し、様々な役割を務める機会を提供する。	B	A	A
中学3年	生活習慣と学習習慣の定着	定期考査や高校進級テストに向けて、十分な準備をして臨むように促す。	B	A	B
	コミュニケーション能力の向上	職業体験学習を通し、校内でのグループメンバーや事業所の方とのコミュニケーションを通し、他者との関わりの機会を設定する。	B	A	A
	中学校締めくくりの意識づけ	学校行事を通し、中学校最高学年としての自覚を持たせ、高校生へのステップアップを意識させる。	B	A	A
高校1年	学習習慣の定着	朝礼前の8:20には着席し、学習を始める。学年実施の小テストに合格する。	B	A	A
	地域の諸問題を知る	週1回のリージョン探究を通じて地域の諸問題への認識を深める。	C	B	B
	新たな自分の発見	新たな友人関係を築いたり、ボランティアなどの外部の公募に積極的に取り組んだりする。	B	A	B

高校2年	規範意識の確立 主体性と協調性の伸長	修学旅行を通じて、規則正しい生活リズムの見直しと、班行動における主体的かつ協調的な活動を促す。	A	A	A
	進路実現を意識した学習習慣の確立	8:20からの朝学を継続し、基礎・基本の徹底のため、朝礼時に小テストを行う。定期考査前の放課後勉強会を実施する。	B	B	B
	進路意識の高揚	保護者会における進路実現に向けての講演会実施、大学見学の実施、大学説明会の開催など。 グローバル探究を通じて、未来志向で社会への貢献手段を模索する。	B	A	A
高校3年	志望進路の実現と学力の深化	担任との面談を通じて、志望進路を明確にする。また、模試の結果を教科・領域別に分析し、学習改善につなげる。	A	A	A
	自律的学習態度の確立	自ら学習計画を立て、振り返りと改善を行う。また、時間管理を徹底させ、自己管理能力を育成する。	A	B	A
	社会的視野と人格の成熟	探究学習を通じて、協働性・コミュニケーション能力・多様性を受容する力を涵養し、社会に出る準備を整える。	A	B	A
通信制	社会性の涵養	行事や授業の中で自然とコミュニケーションをとる機会を増やす	A	A	A
	生活習慣の確立	スクーリングを利用して生活習慣を整える	A	A	A
	学力・進学保障	様々なテキストを利用しながら学力をつけ、丁寧な進路指導を行う	A	A	A

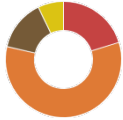
2025年度 アンケート（生徒）

赤：とても当てはまる 橙：当てはまる 茶：あまり当てはまらない 黄：全く当てはまらない



設問 1 キリスト教と建学の精神「一つの心、ひとつの魂」に基づいて教育が行われている

赤 14.9% 橙 69.1% 茶 13.1% 黄 3.0%



設問 2 祈りや宗教行事が落ち着いた心を育む機会になっている

赤 20.2% 橙 58.3% 茶 14.3% 黄 7.1%



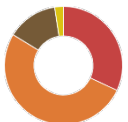
設問 3 教員は丁寧で分かりやすい授業に努めている

赤 22.3% 橙 58.4% 茶 15.1% 黄 4.2%



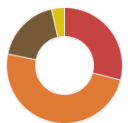
設問 4 教員は校則や社会のルールを守るよう指導している

赤 33.1% 橙 57.8% 茶 6.6% 黄 2.4%



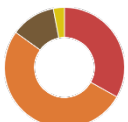
設問 5 教員（担任、教科担当やクラブ顧問など）は質問や相談に適切に応じている

赤 31.9% 橙 51.8% 茶 13.9% 黄 2.4%



設問 6 面倒見がよいと感じる

赤 29.1% 橙 49.1% 茶 18.2% 黄 3.6%



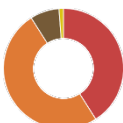
設問 7 教職員は職務にふさわしい服装、節度ある行動がとれている

赤 33.1% 橙 51.8% 茶 12.0% 黄 3.0%



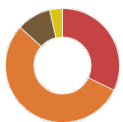
設問 8 多様な価値観を尊重する教育が行われている

赤 19.9% 橙 56.6% 茶 13.3% 黄 10.2%



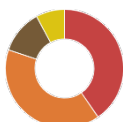
設問 9 タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が充実している

赤 41.0% 橙 50.0% 茶 7.8% 黄 1.2%



設問 10 オーストラリア研修やACPなどを通して国際教育が推進されている

赤 32.1% 橙 54.6% 茶 9.7% 黄 3.6%



設問 11 わかば祭や体育祭、修学・研修旅行、遠足など学校行事は満足できるものだった

赤 40.4% 橙 39.8% 茶 12.1% 黄 7.8%



設問 12 部や同好会の活動は学校生活の充実につながっている

赤 29.1% 橙 50.9% 茶 14.6% 黄 5.5%



設問 13 進路やキャリアなどに関する情報は適切に提供されている

赤 28.1% 橙 53.7% 茶 14.0% 黄 4.3%



設問 14 学校生活において、生徒の心身の健康への管理・指導がなされている

赤 22.4% 橙 53.7% 茶 15.2% 黄 9.1%



設問 15 ホームページやCLASS I 配信などを通じて、適切な情報提供がされている

赤 23.0% 橙 66.1% 茶 7.9% 黄 3.0%



設問 16 校内環境の整備・美化に対する取り組みが行われている

赤 37.6% 橙 53.9% 茶 4.9% 黄 3.6%



設問 17 人間関係のトラブルや揉め事に対して学校が適切に対応している

赤 15.2% 橙 52.7% 茶 21.2% 黄 10.9%



設問 18 校内外の安全対策が十分に行われている

赤 26.1% 橙 58.8% 茶 12.1% 黄 3.0%



設問 19 信愛で女子校のメリットが感じられる

赤 38.2% 橙 38.8% 茶 15.2% 黄 7.9%

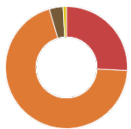


設問 20 総合的に見て、信愛に満足している

赤 24.9% 橙 53.3% 茶 13.3% 黄 8.5%

2025年度 アンケート（保護者）

赤：とても当てはまる 橙：当てはまる 茶：あまり当てはまらない 黄：全く当てはまらない



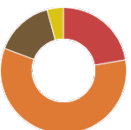
設問 1 キリスト教と建学の精神「一つの心、ひとつの魂」に基づいて教育が行われている

赤 25.8% 橙 69.6% 茶 3.7% 黄 0.9%



設問 2 祈りや宗教行事が落ち着いた心を育む機会になっている

赤 24.4% 橙 63.7% 茶 11.0% 黄 0.9%



設問 3 教員は丁寧で分かりやすい授業に努めている

赤 28.5% 橙 59.6% 茶 11.4% 黄 0.5%



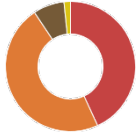
設問 4 教員は校則や社会のルールを守るよう指導している

赤 38.6% 橙 58.4% 茶 2.7% 黄 0.2%



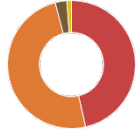
設問 5 教員（担任、教科担当やクラブ顧問など）は質問や相談に適切に応じている

赤 37.1% 橙 53.6% 茶 8.0% 黄 1.4%



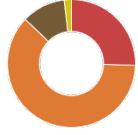
設問 6 面倒見がよいと感じる

赤 43.2% 橙 47.5% 茶 7.8% 黄 1.6%



設問 7 教職員は職務にふさわしい服装、節度ある行動がとれている

赤 46.5% 橙 49.4% 茶 3.0% 黄 1.1%



設問 8 多様な価値観を尊重する教育が行われている

赤 25.5% 橙 61.7% 茶 11.0% 黄 1.8%



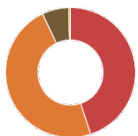
設問 9 タブレットやプロジェクターなどのICT機器の整備が充実している

赤 43.7% 橙 53.6% 茶 2.5% 黄 0.2%



設問 10 オーストラリア研修やACPなどを通して国際教育が推進されている

赤 33.4% 橙 63.4% 茶 3.0% 黄 0.2%



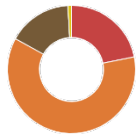
設問 11 わかば祭や体育祭、修学・研修旅行、遠足など学校行事は満足できるものだった

赤 45.0% 橙 48.0% 茶 6.6% 黄 0.5%



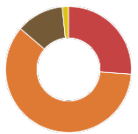
設問 12 部や同好会の活動は学校生活の充実につながっている

赤 27.8% 橙 55.2% 茶 14.9% 黄 2.1%



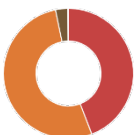
設問 13 進路やキャリアなどに関する情報は適切に提供されている

赤 21.8% 橙 61.2% 茶 16.1% 黄 0.9%



設問 14 学校生活において、生徒の心身の健康への管理・指導がなされている

赤 26.2% 橙 60.0% 茶 12.2% 黄 1.6%



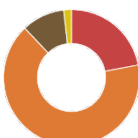
設問 15 ホームページやCLASS I配信などを通じて、適切な情報提供がされている

赤 44.2% 橙 52.6% 茶 3.0% 黄 0.2%



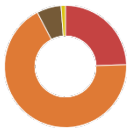
設問 16 校内環境の整備・美化に対する取り組みが行われている

赤 55.7% 橙 43.4% 茶 0.9% 黄 0%



設問 17 人間関係のトラブルや揉め事に対して学校が適切に対応している

赤 22.0% 橙 65.9% 茶 10.2% 黄 1.9%



設問 18 校内外の安全対策が十分に行われている
赤 24.5% 橙 67.8% 茶 6.5% 黄 1.2%



設問 19 信愛で女子校のメリットが感じられる
赤 43.2% 橙 45.3% 茶 10.6% 黄 0.9%



設問 20 総合的に見て、信愛に満足している
赤 44.7% 橙 48.6% 茶 6.0% 黄 0.7%

2025年度 アンケート（教職員）

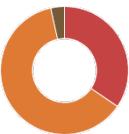
赤：とても当てはまる 橙：当てはまる 茶：あまり当てはまらない 黄：全く当てはまらない



設問 1 キリスト教と建学の精神「一つの心、ひとつの魂」に基づいて教育が行われている
赤 48.3% 橙 51.7% 茶 0% 黄 0%



設問 2 祈りや宗教行事が落ち着いた心を育む機会になっている
赤 62.1% 橙 37.9% 茶 0% 黄 0%



設問 3 教員は丁寧で分かりやすい授業に努めている
赤 34.5% 橙 62.1% 茶 3.5% 黄 0%



設問 4 教員は校則や社会のルールを守るよう指導している
赤 41.4% 橙 51.7% 茶 6.9% 黄 0%



設問 5 教員（担任、教科担当やクラブ顧問など）は質問や相談に適切に応じている
赤 44.8% 橙 55.2% 茶 0% 黄 0%



設問 6 面倒見がよいと感じる
赤 58.6% 橙 41.4% 茶 0% 黄 0%



設問 7 教職員は職務にふさわしい服装、節度ある行動がとれている
赤 31.0% 橙 62.1% 茶 6.9% 黄 0%

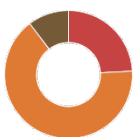


設問 8 多様な価値観を尊重する教育が行われている
赤 31.0% 橙 41.4% 茶 27.6% 黄 0%



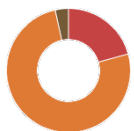
設問 9 タブレットやプロジェクターなどの I C T 機器の整備が充実している

赤 41.4% 橙 55.2% 茶 3.5% 黄 0%



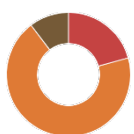
設問 10 オーストラリア研修や A C P などを通して国際教育が推進されている

赤 24.1% 橙 65.5% 茶 10.3% 黄 0%



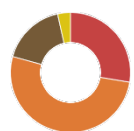
設問 11 わかば祭や体育祭、修学・研修旅行、遠足など学校行事は満足できるものだった

赤 20.7% 橙 75.9% 茶 3.5% 黄 0%



設問 12 部や同好会の活動は学校生活の充実につながっている

赤 20.7% 橙 69.0% 茶 10.3% 黄 0%



設問 13 進路やキャリアなどに関する情報は適切に提供されている

赤 27.6% 橙 51.7% 茶 17.2% 黄 3.5%



設問 14 学校生活において、生徒の心身の健康への管理・指導がなされている

赤 27.6% 橙 58.6% 茶 13.8% 黄 0%



設問 15 ホームページや C L A S S I 配信などを通じて、適切な情報提供がされている

赤 37.9% 橙 48.3% 茶 13.8% 黄 0%



設問 16 校内環境の整備・美化に対する取り組みが行われている

赤 48.3% 橙 44.8% 茶 6.9% 黄 0%



設問 17 人間関係のトラブルや揉め事に対して学校が適切に対応している

赤 44.8% 橙 51.7% 茶 3.5% 黄 0%



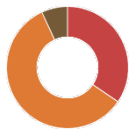
設問 18 校内外の安全対策が十分に行われている

赤 13.8% 橙 51.7% 茶 34.5% 黄 0%



設問 19 信愛で女子校のメリットが感じられる

赤 58.6% 橙 41.4% 茶 0% 黄 0%



設問 20 総合的に見て、信愛に満足している

赤 34.5% 橙 58.6% 茶 6.9% 黄 0%